



編集兼発行所  
須坂市公民館  
塩川町分館  
発行責任者  
樋口 陸 夫  
印刷所  
佐藤印刷(株)

町 勢  
世帯数 1,091戸  
人口男 1,342名  
女 1,401名  
計 2,743名  
9月1日現在

### 運営委員会研修旅行

主事 清水 美奈子

去る七月一日(日)快晴猛暑の中、恒例の運営委員会研修会を開催しました。  
三十四名の参加者に乗せたバスは、まず松代をめざしました。須坂から程近い場所にありながら、ゆっくりと巡ったことのない人がほとんどでした。一行は二手に分かれ、それぞれ熱心なガイドさんに案内していただき真田公園内の真田宝物館、真田邸、文武学校を



観てまわりました。外の日差しは厳しかったものの真田邸の中に入るとすっと汗もひきました。江戸時代後期の面影をよく伝える「御殿造り」の真田邸は、四季それぞれを快適に暮らす工夫が随所に見られ感心することしきりでした。また、建物と一体の景観をなす風雅な庭園には、皆から思わずため息がもれしばし見とれてしまいました。  
宝物館には十二代当主真田幸治氏より譲られた大名道具などが展示されています。資料などの数は五万点にも及び年間四回の展示替えをしていますが、まだまだ新しいものが出てくる程だそうです。  
素晴らしいガイドさんのお話に聞き入ってしまった出発が遅れてしまいました。次にめざした小諸の菱野温泉は隠れ里のような

所であり、目に優しい緑と鳥の囀りが私達を出迎えてくれました。  
懇親会場となった常盤館では、信州の恵みを素材にした心尽しのお料理をいただきながら話しながら花が咲き楽しいひとときを過ごすことができました。  
そして名物の登山電車で行く展望露天風呂「雲の助」にもせっかくなので入ってきました。標高一〇五〇メートルの浴槽からは、八ヶ岳、蓼科山、佐久平が一望でき、吹き上げてる風はなんとも言えない心地良さがありました。  
帰りは、道の駅「雷電くるみの里」でおみやげを物色し、無事塩川へと戻ってまいりました。  
運営委員の皆様と分館役員との一層の懇親を深めることができ、良い一日となりました。



### 健康講座

#### 血糖値とメタボについて

保健指導員 新井 清子

去る五月十二日(土)、公民館との共催で健康講座を開催いたしました。  
今年には保健師の田村優衣さんに講演をしていただきました。  
血糖値って何？メタボって？聞いたことはあるけど、糖尿病になるの？いろいろ不安はありましたが、田村さんのお話しをクイズを交えながらお聞きして、改めて基本は食事と運動のバランスの大切

さを痛感いたしました。  
自分の健康は自分で作る。医者は作ってくれませんが、ご参加いただいた皆様も健康でいきいきとした生活を送りたいとの思いは同じで、真剣に耳を傾けておられました。  
最後に、参加者全員で『やってみよう！速歩』で身体を動かし、終了しました。



### 須坂市ゲートボールフェスティバル

公民分館体育部 小川 清次



5月20日(日)北部グラウンドにおいて、須坂市ゲートボールフェスティバルが開催されました。数日前の天気予報では雨予報で開催が心配されましたが、皆さんの熱意が届いたのか当日は五月晴れの絶好のコンディションのなか、ゲートボールには24町38チームが参加し、10ブロックに分かれ熱戦が繰り広げられました。塩川町からはA・Bの2チームが参加しました。  
Aチームは第6ブロックにて、1戦目は大谷町Aと対戦し14対13、2戦目は亀倉町Bと対戦し11対8と2勝、いずれも接戦をものにして優勝となりました。  
Bチームは第5ブロックにて、1戦目は井





# 塩川盆踊り・こども大会開催

事業部長 牧 登志夫



八月一日、恒例の塩川盆踊りこども大会が行われました。この日の天気予報は、午後には傘マークとなっていました。少し不安を抱えながらも、会場準備に取り掛かり、準備万端で開始を待ちます。残念ながら不安の中、開催1時間前に土砂降りの夕立、雨雲レーダーを確認するも開催時間前に雨が止む気配も無く、止む無く会場を熊野神社境内から公会堂に変更となつてしまいました。公会堂内では、盆踊りを公会堂の2Fで、1Fではかき氷・キュウリの浅漬け・ポップコーン・ジュース・ビール・スーパースポーツ・ポンポン釣り・花火抽選会を1Fのフロアー全てを使い行いました。また、スイカ・完熟パインの提供は、玄関入口にて行いました。



開催時間の7時を迎えるころには、会場の設営も完了し、音楽と太鼓に合わせて、踊りが始まりました。開始直後は、雨の影響か人はまばらでしたが、時間が経つにつれいつの間にか1Fは人だかりが絶えない状況になり、廊下はお目当てのものを求めて長蛇の列ができていました。花火の抽選が始まると花火を求める列ができ廊下はさらに人だかりの山となりました。2Fでは、太鼓を中心に大広間いっぱいには輪が広がっていました。今年は、踊りの曲に、ちびまる子ちゃんでお馴染みの「おどるポンポコリン」の曲に合わせて体操を取り入れてみました。踊りの輪の中や周りには、子供たちの姿が見受けられました。また、今年は盆踊りに参加された方に、記念品としてLEDライト付ボールペンを配布させていただきました。皆さん、如何だったでしょうか？

会場変更の影響も感じさせず、今年も盛大に、盆踊りこども大会が開催でき、大きなトラブルもなく無事に終わることができました。これも、盆踊りこども大会に携わっていただいた区長をはじめ、区役員、花房会、笑顔いっぱい体操の会、保健指導員、長生会の皆さん、ご協力いただいたすべての方々、そして何より、ご参加くださった区民の皆様のおかげと、深く感謝しております。皆様の協力、ありがとうございました。

# 交通安全講座報告

4月7日(土)午後7時から開催され、約50名の参加がありました。講師に須坂警察署の御堂島(みどうじま) 勝彦交通課長を招いて講演していただきました。

内容につきましては簡単に報告させていただきます。

・夜間の外出時は明るい色の服装を着用し、夜光反射材を活用する。

・また高齢者の事故は夕暮れ時に多発している為、早めにライトを点灯しハイビーム(上向き)で走行し、すれ違い時ロービーム(下向き)で使用しこまめに切り替える。

・須坂署管内では734日死亡事故が無く、安全意識が高く交通指導員制度が確立している反面、人身事故が今年3月末までに須高地区で52件と多く昨年より12件増加し、県下22署の中でトップの増加率である。

また昨年度事故の多い時間帯は朝7時~9時の通勤通学時、曜日別

では月曜日と金曜日となります。また下校時間帯も注意が必要です。

・長野中央署交通課勤務時代に体験した交通事故について話され、児童が亡くなり家族の悲しみが自分に重なり、辛い思いをした実話を話して頂きました。

・その他、今年須高地区で下草火災が多く発生しています。一人でやらない、水を用意し十分注意する事。

また特殊詐欺について固定電話にかけてくる為、留守番電話を利用する事などです。

新1年生が慣れない通学路を通ります。地域の皆様で児童を見守りいただき、狭い生活道路では高齢者に優しい思いやり運転で、安全で安心な塩川町にしていきたいと思っております。

最後に皆様が交通事故に遭わないよう無事故で過ごされる事を祈ります。

安協塩川分会 玉井雄二

# 第8ブロック7町合同開催 人権問題学習会報告

七月二十七日(金)午後七時より日野地域公民館において、日野地区七町合同の人権問題学習会が開催されました。

はじめに人権交流センター指導員の山岸周一さんより、新しい三つの法(部落差別解消推進法・障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法)について説明していただきました。その後、日野小学校の先生から学校での人権教育の具体的取り組みについてお話していただきました。

そして今年も須坂ぶれジョブ推進会議会長の菅沼美和子さんより『やさしい地域のつくり方』ぶれジョブの実践から』と題しお話ししていただきました。ぶれジョブ

とは、支援を必要とする子ども達がサポーターと一緒に企業や事業所などに行き週一回一時間程の仕事や六ヶ月体験する活動です。

私もサポーターを経験しましたが、仕事に取り組み子ども達の真剣さに感心したり、受け入れ先の対応にも頭の下がるおもいでした。子ども達が認められほめられることで、自信や喜びを得て成長していくと、職場の雰囲気までもが、あたたかく変化していく場面を何度も体験させていただきました。まさに『地域づくり』の活動なのだと思えます。

ただ学習会の参加者がだんだん減少し五十四人だったのが気になりました。

清水 美奈子

# 塩川リレー日記

皆さんこんにちは。八十九組の山崎桂子です。今号から始まる新コーナーなので少し緊張しますが、分館長さんが「自由に書いていいですよ。」と仰つてくださいました。今、塩川町は約二千七百名の方が暮らしているそうです。このリレー日記のバトンが多くなる皆さんに繋がりますように、心から願っています。

我が家は四人家族で、塩川町に家を建てて十七年になります。主人も私も市内の出身で、大学生と中学生の二人の子供がいます。子供達が小学生の頃は、おみこしや親子スキーツアーなど育成会の行事に楽しく参加した思い出があります。今年から公民館の役員として活動しています。先輩の役員さんには教えて頂きながら、文化祭や研修旅行、盆踊りこども大会などに参加しました。文化祭では、地域に伝わる御神楽の獅子舞を鑑賞し、改めて町の歴史を感じる事が出来ました。新しい人との出会いもあり、これからの楽しく活動していきたいと思っています。

では次の方にバトンをお渡します。一〇四組の塚田由実さんです。「私でよければ」と快く引き受けてくれた素敵な友達です。よろしくお願ひします。

山崎桂子 (八十九組)